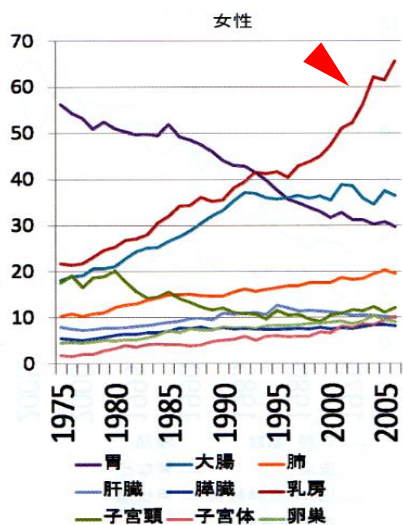


乳がん検診のご案内

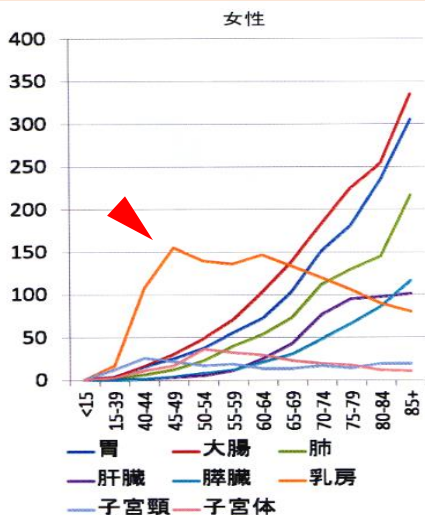
がんの部位別年齢調整罹患率



乳がん患者さんの数は増加傾向です

発症のピークは40歳代後半と60歳代前半です

年齢階級別罹患率



乳がん検診の方法とは

- 厚生労働省が推奨している乳がん検診（一般住民検診）は「40歳以降、2年毎のマンモグラフィ検査（乳房X線検査）」です。
- 高濃度乳房に対する超音波検査併用の有用性も近年話題になっています。

行政の乳がん検診費用助成制度について

- さくら市、矢板市、高根沢町、塩谷町にお住まいで41歳・46歳・51歳・56歳・61歳の方は助成対象となりますので、当検診センターにて無料で検診をお受け頂けます。事前の手続きが必要ですので検診センター窓口までお問い合わせ下さい。
- 上記対象以外の方の検診も受け付けています。

30歳以上の方は各自治体が行っている特定健診（集団検診）を利用する方法もあります。お住いの自治体の担当部署にお問い合わせ下さい。

当院の乳腺診療体制について

- 当院では今年度より乳腺専門外来の診察枠を増やしました。心配な症状のある方や検診で再検査を指示された方は下記診察日にご来院ください。（事前予約をお勧めします）
 - ・ 毎週水曜、午前 担当、田中浩一外科部長
 - ・ 第1土曜、午前午後 担当、河合祐子医師
 - ・ 第3土曜、午後 担当、阿部暁人医師
- 8月より最新の高解像度デジタル画像装置を導入し、マンモグラフィ検査精度がさらに向上しました。